

社会資本総合整備計画 事後評価書														
計画の名称	鹿児島市における下水道整備と環境の保全の推進													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鹿児島市													
計画の目標	下水道整備を行い、安心・快適な生活環境を実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,599	A	1,599	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27末	H29末	H31末
1	下水道処理人口普及率を32.8%(H26末)から39.8%(H31末)に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	32%	36%	39%
	下水道を利用できる人口（人）／行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	納富分污水準幹線整備（ 未普及対策）	A=18.6ha	鹿島市	■	■	■	■	■	330		－
	A07-002	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	小舟津污水準幹線整備（ 未普及対策）	A=19.2ha	鹿島市	■	■	■	■	■	300		－
	A07-003	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	馬渡污水準幹線整備（未 普及対策）	A=10.3ha	鹿島市	■	■	■	■	■	180		－
	A07-004	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	井手分污水幹線整備（未 普及対策）	L=643m	鹿島市	■	■	■	■		76		－
	A07-005	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	井手分污水準幹線整備（ 未普及対策）	A=17.3ha	鹿島市	■	■	■	■	■	305		－
	A07-006	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	鹿島污水準幹線整備（未 普及対策）	A=3.0ha	鹿島市	■	■	■	■	■	69		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	終末処 理場	新設	鹿島市浄化センター 汚 泥処理施設新設	機械・電気設備	鹿島市	■					244		－	
	A07-008	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	横田污水準幹線整備（未 普及対策）	A=2.0ha	鹿島市		■	■	■	■	46		－	
	A07-009	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	西牟田污水準幹線整備（ 未普及対策）	A=0.3ha	鹿島市					■	■	20		－
	A07-010	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	－	－	鹿島市下水道地域活力向 上計画策定	計画策定	鹿島市				■			9		－
	A07-011	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	新設	祐徳門前地区污水幹線・ 準幹線整備（未普及対策 ）	A=9.0ha	鹿島市					■	■	20		－
											小計						1,599			
											合計						1,599			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

鹿島市にて実施

事後評価の実施時期

令和２年度（令和２年９月）

公表の方法

鹿島市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道処理人口普及率３２．８％から４０．１％となり、下水道を使用できる人が１０，０３２人から１１，５４４人となり、１，５１２人増えた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

平成２７年度から平成３１年度までの５年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量指標は達成することができた。今後も汚水の未普及対策と雨水による浸水対策を進めていくとともに、終末処理場や管渠についての長寿命化（ストックマネジメント）計画を策定し、計画的な改築等に努め、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたい。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人）／行政人口（人）		
	最 終 目標値	39%	
	最 終 実績値	40%	

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

